

大学院水産科学研究院に「上廣海洋学分野」を設置

～海洋学を通じたハワイ大学との教育交流を加速～

【概要】

公益財団法人上廣倫理財団^{*1}からの寄附による寄附分野として、本学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門に、上廣海洋学分野（Uehiro Laboratory for Oceanography）を令和7年4月1日に設置しました。設置期間は5年間を予定しています。

「上廣海洋学分野」は、温暖化が進む地球環境の理解と保全に資する海洋学研究を推進するとともに、フィールドワークを中心とした海洋学実習の実施、ハワイ大学マノア校海洋地球理工学部・海洋学科上廣海洋学振興センターとの交流等を通じて、持続可能な社会の実現に向けて世界的に活躍できる人材を育成することを目的としています。

【背景】

海洋は地球表面の7割を占めており、食料供給、レジャーから、熱や二酸化炭素の吸収による気候変動の緩和まで、様々な恵みを我々人類に与えています。この海の恵みが将来も続くよう、国連の持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）では、目標14「海の豊かさを守ろう」において、持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用することを掲げています。

北海道大学では、2030年に向けた中期的ビジョンであるHU VISION 2030の一つとして「持続可能性の追求」を掲げ、SDGs達成に向けて様々な取り組みを行っております。大学院水産科学研究院では、練習船による乗船実習等によって目標14「海の豊かさを守ろう」の実現に向けた教育研究を実施していますが、この度設置する上廣海洋学分野では、海洋学の高度な教育研究により、目標14「海の豊かさを守ろう」達成に向けてさらなる貢献を行うとともに、ハワイ大学との教育交流を通じて、世界的に活躍できる人材を育成することを目指しています。

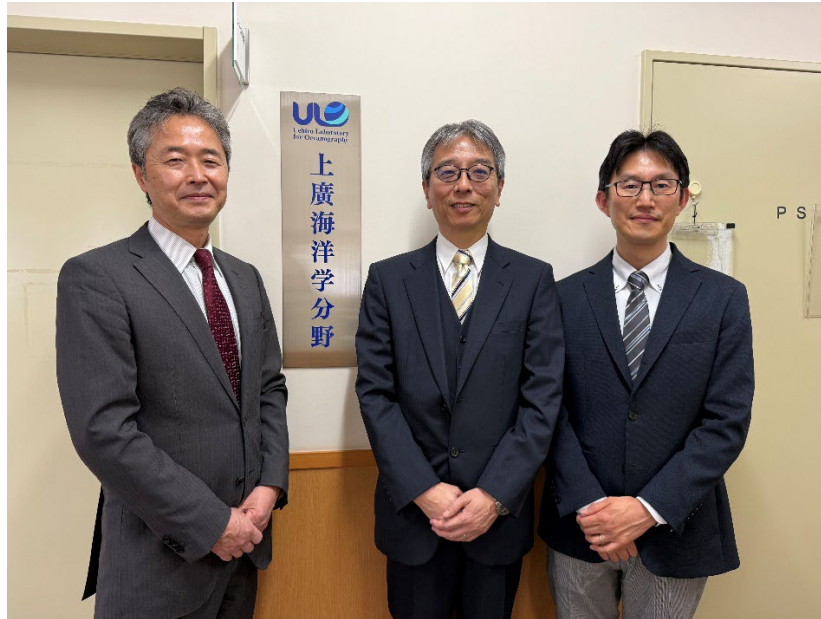
【目的・活動内容】

上廣海洋学分野では、温暖化が進む地球環境の理解と保全に資する海洋学研究を推進するとともに、持続可能な社会の実現に向けて世界的に活躍できる人材を育成することを活動の目的とし、下記の事項に取り組みます。

- 1) 地球環境の理解と保全を目標として、主に海洋熱・物質循環変動の実態とそのメカニズムの解明、海洋環境の変動が海洋生態系・生物多様性へ及ぼす影響の解明、海洋生態系の保全に資する研究を実施すること。
- 2) フィールドワークを中心とした実習により海洋環境や生態系の実態を把握することや、キャリアデザインプログラム等を通じて、持続可能な社会の実現に向けて世界的に活躍できる人材を育成すること。
- 3) ハワイ大学マノア校海洋地球理工学部・海洋学科上廣海洋学振興センターとのフィールドワーク実習やシンポジウム実施等を通じたコラボレーションによって国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与すること。

【設置期間】

令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日



左から笠井亮秀教授、都木靖彰研究院長、上野洋路教授

お問い合わせ先

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 笠井亮秀（かさいあきひで）

T E L 0138-40-8807 メール akihide@fish.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 上野洋路（うえのひろみち）

T E L 0138-40-8874 メール ueno@fish.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 公益財団法人上廣倫理財団 … 1987 年 4 月に設立された学術・学校・社会文化における倫理に関連する教育及び研究の振興と人材育成を目的とする日本の公益財団法人。海洋学に関する寄附講座はハワイ大学マノア校海洋地球理工学部・海洋学科上廣海洋学振興センターに続いて 2 例目。